

令和2年6月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和2年6月29日（月）
開 会 午前 9時30分
閉 会 午前 10時30分
- 2 会 場 茅野市役所 8階大ホール
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 濱 勝之 教育委員 永嶋 陽子
教育委員 勅使川原 はすみ
- 出席者 こども部長 有賀 淳一 生涯学習部長 北沢 政英
こども課長 五味留美子 幼児教育課長 柳澤 澄子
学校教育課長 五味 正 生涯学習課長 藤森 隆
文化財課長 五味 健志 スポーツ健康課長 中村 浩明
こども係長 宮下 孝 教育総務係長 立石 淳二
生涯学習係長 河西 茂廣 教育総務係主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 3名

6 月定例教育委員会次第

日 時 令和 2 年 6 月 29 日（月）午前 9 時 30 分から

場 所 市役所 8 階大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

今回はありません

5 検討事項

（1）本年度の台湾交流事業について

（2）総合教育会議の内容について

6 その他

（1）市議会 6 月定例会一般質問について

（2）市議会 6 月定例会議決結果について

（3）笹原保育園民営化運営検討に関する経過報告と今後の予定について

（4）茅野市奨学金審査会委員の選出について

(5) 新型コロナウイルス感染症の対応について

(6) その他

次回定例教育委員会日程について

7月29日(水) 午前9時30分「議会棟大会議室」

(事務局会議 7月15日(水) 午前9時00分「705会議室」)

7 閉会

教育長

只今から 6 月定例教育委員会を開催します。

前回の 5 月会議録の承認について確認します。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございます。

報告事項に入ります。報告事項第 1 号の資料をご覧ください。

6 月 4 日に諏訪ロータリークラブから消毒液の寄贈がありました。大切に使用させていただきます。

また、4 日は議会の開会日でした。

9 日に調べ学習コンクール研修会がありました。各学校 1 名の代表者を選び今年度初めて実施しました。コロナウイルスの関係等もありますので、子どもたちの負担にならぬよう、できる範囲で進めていきたいと思います。

同日に茅野市 with コロナ・くらし・経済対策会議がありました。第 1 回目の会議でした。

10 日に湖東小、北部中の訪問をしました。3 日には宮川小、長峰中、永明小を訪問し、8 日には玉川小、泉野小を訪問しています。各学校の様子や子どもたちの様子を確認しながら、今年度の英語や I C T の推進について検討し、お願いをしました。

11 日に議会が始まりました。

12 日に梅蔵さんよりマスクを寄贈していただきました。ありがたいことです。

16 日に縄文まつり実行委員会がありました。今年度の縄文まつりについては、中止となりました。その中で縄文のもつ意味に戻り、学校の子どもたちにどのような本質的体験をさせてあげることができるか、1 年間検討することになりました。

23 日に表彰審査会と泉野小学校主幹訪問がありました。泉野小学校では、タブレットや大型テレビを上手く使いこなしていました。一見して単純そうに見えていましたが、高度な考えを持って実施していました。

25 日に宮川小学校主幹訪問と議会最終日がありました。

26 日に定期監査報告会と湖東小学校主幹訪問がありました。湖東小学校では、体育の授業で鬼ごっこを行っていましたが、児童たちが必要以上に近寄れないよう、距離をとりながら実施できる工夫をしていました。「学校の新しい生活様式」の工夫がはじまっています。

本日は、定例教育委員会と県教育長会会計監査、校長面談があります。

報告は以上となります。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から7月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項についてご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

ありがとうございました。

今回、議案はありませんので、次に検討事項に入ります。

検討事項1「本年度の台湾交流事業について」お願いします。

学校教育課長

資料はありませんので、口頭でご説明させていただきます。

毎年、10月末に各中学校6名程度の生徒が参加し、台湾への渡航をとおして交流を進めてきました。

しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、台湾への渡航中止を決定させていただきました。

本交流事業については、姉妹校提携等の関連もあることから、各学校がそれぞれの学校との交流を進めることについては、今年度も継続していく予定です。ただ、学校が休校等により授業時間数が足りていない状況もあることから、無理なくそれぞれの学校で対応できることを基本に考えています。今後は、正式に各学校の取組などが決まりましたら、ご

報告させていただきたいと思います。

検討事項1については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

勅使川原委員

例年 1 月に、台湾から交流事業として来日されていますが、今年度はその予定などについて、台湾より連絡等はきていますか。

学校教育課長

連絡等については、茅野観光まちづくり推進機構を通じて報告をいただいています。現段階では、来日の予定については正式に決まっていないということで、お話しをいただいています。

茅野市においては、コロナウイルスの状況も見ながら、受け入れについて慎重に検討を進めていきたいと思っています。

教育長

他にご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に検討事項2「総合教育会議の内容について」お願いします。

学校教育課長

資料はありませんので、口頭でご説明させていただきます。

総合教育会議については、今年度第1回目を8月4日午後3時30分から予定しています。

会議の内容については、前回の定例教育委員会で出されたご意見を理事者との間で内容を詰めさせていただきたいと思っています。コロナウイルスの内容を中心に会議を進められるよう考えていますので、ご承知おきいただきたいと思います。

検討事項2については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありあますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他1「市議会6月定例会一般質問について」お願いします。

こども部長

その他1の資料をご覧ください。

今回の一般質問では、2名の議員よりそれぞれ1件ずつご質問をいただきました。

当初、5月定例会教育委員会の中では、伊藤正陽議員より市民館の駐車場の件にいてご質問をいただいていたが、教育委員会としてお答えする内容はありませんでしたので、省略させていただきます。

まず、伊藤正陽議員より新型コロナウイルス感染症予防と、小中学校の休校等について、4項目のご質問をいただいています。

1点目の万が一市職員が感染、もしくは感染の疑いが生じた場合の感染拡大防止については、感染症拡大に伴い、感染予防の対処方法等や対策を市長メッセージとして市民のみなさんに3月から順次発信してきました。これは職員に対しても同様です。

市役所の予防策として、庁内の出入口、各窓口への手指殺菌用のアルコール液を設置、住民のみなさんと職員が接触する機会の多い窓口には、アクリル板を設置しました。また、感染や業務停止のリスクを回避するため、職員の出勤者をおおむね2割削減するべく、休日出勤や休暇を活用して働き方を見直しています。

万が一、市職員が感染もしくは感染の疑いが生じた場合には、行政機能を可能な限り維持していくために、閉鎖する部署を最小限に留める必要があります。該当職員の行動履歴等を調査し、事案ごとに閉鎖部署を決定していくと回答させていただきました。

2点目の保育園・学童クラブでの新型コロナウイルス感染症予防対策については、保育園では厚生労働省、文部科学省からの通知に基づき、直ちに、公立私立問わず全保育施設に対して、児童の健康状態の確認、手洗い、うがいの励行、消毒の徹底、マスクを着用することについて依頼し、各園において実施をしてきました。

感染者等が保育園の関係者から発生した場合に備え、厚生労働省からの通知を踏まえ、「行動基準」を定め、関係施設に周知をしました。

4月16日の臨時休園は、この行動基準に基づき対応させていただきました。

「新しい生活様式」が厚生労働省から公表されたことを受け、「ラミネートフィルム製の飛まつ感染予防パーテーション」を作成し、食事のためのテーブルの上に立てて、飛まつ

感染対策もしています。

学童クラブにおいても国や県の方針を踏まえ、手洗い、うがいの励行、マスクの着用等の基本的な感染症対策を徹底するとともに、健康観察、こまめな換気、児童同士の距離の確保と接触の回避、清掃・消毒等の衛生管理を徹底して実施することとしています。

また、保育園と同様に「行動基準」の作成、保護者への周知も行い、児童の利用状況に応じて、通常とは別の広い教室を借りる等、学校と連携して安心安全な運営に努めているところです。

今後も気を緩めず、生活スタイルを見直しながら、引き続き感染症に対して、検温・うがい・手洗い・細かな消毒などを徹底して行うとともに、子どもたちに対しても丁寧に伝え、感染防止に努めていくと回答させていただきました。

3点目の諏訪保健所管内で新たな感染者が出た場合の、小中学校の対応についてと、4点目の茅野市の小中学校児童生徒、教職員で感染者が出た場合の休校等の対応については、関連がありますので、一括して答弁させていただきました。

6月1日から小中学校が再開となり、教育活動を再開していくにあたり、文部科学省から令和2年5月22日付けで「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」が示されました。小中学校ではこのマニュアルに基づき、各学校において実態に合わせて更に工夫をし、感染症対策を実施しています。

諏訪保健所管内で新たな感染者が確認された場合には、地域の感染状況が悪化し、感染経路不明の感染者が多数発生しているような場合は、地方自治体の首長が警報を発し、地域内の社会経済活動を一律に自粛することがあります。このような局面では、感染者が出ていない学校であっても、臨時休業を行う場合があります。茅野市では対策本部が総合的な判断を行います。

文部科学省の判断基準では、レベル1及びレベル2の地域においては、基本的には、地域一律の臨時休業を行う必要性は低いとされていますが、臨時休業を行う場合であっても、児童生徒の学びを保障する観点から、茅野市においては、「短時間スポット分散登校」や、学級分割による分散登校を「寺子屋すくーる」と名付けて実施してきました。今後、必要に応じてさらなる工夫をしていきます。

市内の児童生徒等や教職員に感染が確認された場合には、国や県のガイドラインに基づき、県の衛生主管部局に報告し、相談・協議を行います。濃厚接触者が保健所により特定されるまでの間、また、校内の消毒の間、学校の全部または一部の臨時休業を実施します。その後、校長は、感染した児童生徒等や、保健所の調査により濃厚接触者に該当すると判断された児童生徒等について、学校保健安全法第19条に基づく出席停止の措置を取ります。

さらに、県の衛生主管部局の調査や相談・協議、また学校医の助言等により、感染者の学校内での活動の状況や地域の感染拡大の状況を踏まえ、学校内で感染が広がっている可能性が高いと判断された場合は、感染拡大の可能性が高い範囲に応じて、学級単位、学年単位又は学校全体の臨時休業の措置を茅野市として取ります。その際の判断基準となるの

は、学校における活動の態様、接触者の多寡、地域における感染拡大の状況、感染経路の明否です。従って、感染経路が判明しており、学校外で感染したことが明らかであって、他の児童生徒等に感染を広めているおそれが低い場合には、学校の臨時休業を実施する必要性は低いとされています。

新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点が多く、日々状況と知見も変わっていますが、この新たな感染症とともに社会で生きていかなければいけません。学校も例外でなく、「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」の3つのポイントを踏まえ、「3つの密」を徹底的に避け、「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」など、基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障していくことに努めていくと回答させていただきました。

続いて、木村かほり議員から災害発生時の「学びの保障」について、2項目の質問をいただいています。

1点目の学校や子どもに関することを話し合う場の設置について、小中学校では、地域と学校が子どもたちの支援と子どもの教育や学校運営について話し合い、「地域とともにある学校」をめざして、平成29年度にすべての学校にコミュニティスクールを設置しました。

また、令和元年度から各学校のコミュニティスクールの部会に「家庭教育支援部会」を組織し、地域の保護者と、身近な地域の人達が、子育てや家庭教育について相談や情報交換を行うことを通して、地域のより身近な子育てネットワークを構築していくことを目指しています。

各学校のコミュニティスクールは、校長の権限と責任の元に、学校の主体性、校長の経営方針を軸として、学校や子どもに関することを話し合う場として機能しているので、より充実した活動が行えるよう連携を進めていきます。

このほかに考えられる場としては、「茅野市こども・家庭応援計画」、通称どんぐりプランを推進するために活動している「茅野市こども・家庭応援計画推進ネットワーク委員会」、通称どんぐりネットワーク茅野があります。

どんぐりネットワーク茅野は、市内の子どもに関する活動団体・子育てサークルの団体等が協力し合うためにネットワークを結び、どんぐりプラン推進のための行政への提言・連携、子ども・家庭に関する情報交換やこども館運営の応援等の活動を行っていただいています。

どんぐりネットワーク茅野では、どんぐりプラン推進の検討や行政との協議・検討等を効率的に行うために「幹事会」を設置しています。

幹事会には、市からこども部長が幹事として参加し、市民と行政が同じテーブルに着き、子育て・教育について意見を交わしていると回答をさせていただきました。

2点目の話し合う場に市民、民間団体、企業等が参加することについて、コミュニティスクール運営委員会は、学校支援ボランティア代表を中心にPTAや自治会、商工会など

の地域の代表、子育て支援に関わる民生児童委員会や少年育成委員会、地域の公民館関係者等で構成され、地域の実情にあった様々な団体等のネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子どもも大人も学びあい育ちあう教育のしくみづくり」を目指しています。

また、どんぐりネットワーク茅野では、今後、より多くの子育て関係者と課題解決に向けた検討を行うため、「拡大幹事会」を開催することとしており、協議事項に応じて、関係者を参集することとなっています。

学校やこどもに関する話し合いの場として、さらに活用していきたいと考えています。

今後もこの取組みを継続し、構築した地域の子育てネットワークによって、災害時等においても学校の持っている機能が維持できるよう活動を進めていくと回答させていただきました。

その他 1 については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他 2 「市議会 6 月定例会議決結果について」をお願いします。

こども部長

その他 2 の資料をご覧ください。

茅野市議会 6 月定例会議決結果については、6 月 25 日に全ての日程を終了いたしました。資料の中で、教育委員会に関係するもののみ抜粋してご説明させていただきます。

議案第 29 号の令和 2 年度茅野市一般会計補正予算（第 1 号）の専決処分の承認を求めることについては、6 月 4 日に承認をいただいています。

議案第 37 号の茅野市民館条例及び茅野市営駐車場条例の一部を改正する条例についてと、議案第 38 号の令和 2 年度茅野市一般会計補正予算（第 2 号）については、6 月 25 日に可決をいただいています。

議案第 39 号の令和 2 年度茅野市一般会計補正予算（第 3 号）については、6 月 17 日に追加案件として上程させていただきました。こちらについても 6 月 25 日に可決をいただいています。

議案第 39 号の令和 2 年度茅野市一般会計補正予算（第 3 号）については、追加提案のため、前回の定例教育委員会では説明がなかったため、ここで説明をさせていただきます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 349,528 千円を追加し、歳入歳出それぞれ 31,951,565 千円とするものです。

教育委員会に関係する箇所を抜き出してご説明させていただきます。

資料の 10 ページをご覧ください。3 款 2 項 3 目事業 5 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費（国庫補助事業）において、42,952 千円の補正増となります。内容については、国庫補助事業による、ひとり親世帯臨時特別給付事業費補助金となっており、ひとり親の世帯に対して 1 世帯 5 万円、第 2 子以降につき 1 人 3 万円の給付をする事業となります。

続いて、14、15 ページをご覧ください。10 款 2 項 1 目事業 2 小学校運営費において、4,000 千円の補正増となります。委託料の補正額となり、湖東小学校のスクールバス感染症防止のため、増便にかかる費用となります。

続いて、2 項 2 目事業 1 小学校教育事務費において、990 千円の補正増となります。プール清掃等の手数料分となっており、感染症防止のため、児童生徒が清掃を行うことができないため、清掃にかかる費用の補正額となります。

続いて、3 項 2 目事業 1 中学校教育事務費において、440 千円の補正増となります。こちらも先程の小学校と同様の内容になります。

その他 2 については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他 3 「笹原保育園民営化運営検討に関する経過報告と今後の予定について」をお願いします。

幼児教育課長

その他 3 の資料をご覧ください。

笹原保育園の民営化に関する提言書に対する市からの回答については、笹原保育園の将来を検討する委員会において、少子化の影響による入園児童数の減少、税収入の減少による財政規模の縮小、保育士不足等を要因とした笹原保育園の統廃合について 2 年間にわたって審議を行っていただき、笹原保育園は民営化して存続することに決定しました。

このことによって、令和元年 10 月からは、笹原保育園民営化運営検討委員会にて民営化と運営についてご審議いただき、令和 2 年 6 月 3 日に同委員会から市に対して提言書が提出されました。

この提言に対して、市の方針を令和２年６月１７日に笹原保育園民営化運営検討委員会に回答しましたので、内容について報告させていただきます。

資料説明 その他３

【概要】

検討委員会からの提言の内容 (令和２年６月３日提出)	市からの回答の内容 (令和２年６月１７日回答)
1 新笹原保育園の運営内容	
<p>下記条件を業者選定の仕様書に付し、笹原保育園の民営化に係る移管先事業者を募集します。</p> <p>(1) 認定こども園で、入所定員は 25 人から 35 人がふさわしいと考えます。</p> <p>(2) 2 歳児から年長児までの受け入れを望みます。なお、0・1 歳児についても柔軟に検討することを望みます。</p> <p>(3) 開園時間は現在の公立保育園に準ずるものとしませんが、<u>農村の地域性を活かした拡充を希望します。</u></p> <p>(4) 給食は自園調理方式とし、提供にあたっては現在の公立保育園に準じた対応を行うことを望みます。</p> <p>(5) 食材については、<u>地域も提供の協力をするので、地産地消に取り組むこと</u>を望みます。</p> <p>(6) 地域の特性を活かした保育を望みます。</p> <p>(7) 湖東地区に限らず広域的に園児を集める工夫が必要と思われます。</p> <p>(8) <u>長期に渡って安定した運営を行うことを望みます。</u></p>	<p>下記条件を業者選定の仕様書に付し、笹原保育園の民営化に係る移管先事業者を募集します。</p> <p>(1) 入所定員は 25 人から 35 人の認定こども園とすること。</p> <p>(2) 2 歳児から年長児までを受け入れること。また、0・1 歳児についても柔軟に検討すること。</p> <p>(3) 開園時間は現在の公立保育園に準ずるものとする。ただし、<u>地域の状況によりこれを拡充することは構わないこととする。</u></p> <p>(4) 給食は自園調理方式とし、提供にあたっては現在の公立保育園に準じた対応を行うこと。</p> <p>(5) 食材については、地産地消に取り組むこと。</p> <p>(6) 地域の特性を活かした保育を行うこと。</p> <p>(7) 湖東地区に限らず広域的に園児を集める工夫を行うこと。</p> <p>(8) <u>10 年間は経営維持を図ること。</u></p>

2 新笹原保育園の運営経費について	
(1) <u>民営化後の経費は現在の市の補助金制度を利用できることを望みます。</u> (2) 保育園の <u>建物・土地の無償または廉価での貸与の検討が必要</u> と思われます。 (3) <u>園舎の改修についてはプロポーザル時の仕様書に明記することが必要と考</u> えます。	(1) <u>茅野市民間特定教育・保育施設等補助金交付要綱に基づき、予算の範囲内で補助を行います。</u> (2) 保育園の <u>建物の無償譲渡及び土地の無償貸与について検討</u> します。 (3) <u>園舎の改修については予算の範囲内で補助金交付できるよう進めます。</u>
3 業者選考方法	
(1) <u>プロポーザル方式で行うことが適当と考</u> えます。 (2) <u>業者の選考に当たっては当委員会の代表者を加えることを望みます。</u>	(1) <u>業者の公募を行い、プロポーザル方式で行います。</u> (2) <u>業者選考にあたっては、貴委員会の代表者2名程度の選出と参加をお願い</u> します。
4 その他	
(1) <u>園名に「笹原」または「ささはら」の地名を残すことを希望</u> します。 (2) <u>地域は園との交流に積極的に取り組み</u> ます。	(1) <u>園名に地名を残すように要望</u> します。 (2) <u>園の運営に当たっては、地域・保護者の協力を希望</u> します。

今後の予定については、民間事業者を募集して移管先を決定するため以下の概要で進め、詳細については、8月上旬に配布する募集要項をご覧くださいようになります。

議会全員教委議会での経過報告を7月14日に行います。

第1回笹原保育園民間事業者選考委員会を7月21日に行います。

移管先の募集については、8月上旬に募集要項の配布、9月上旬に応募書類受付開始、10月上旬にプレゼンテーション後事業者の選定、10月上旬に第2回笹原保育園民間事業者選考委員会決定後公表というような予定となっています。

その他3については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

勅使川原委員

他の保育園でも民営化されている保育園がありますが、今回の笹原保育園の民営化については、地域の特性を活かした保育を行うというところが他の保育園と比べて特に違うところなのでしょうか。

幼児教育課長

提言では、農村の地域性を活かした保育時間ということですが、どこまで農村の地域性を活かせるかというのは、不透明な部分もあります。

開園時間なども現在の保育園に準じたものにし、広域から園児を集める工夫を含め、応募される事業者がどのような提案をしてくるかというところに期待しています。

勅使川原委員

提言と回答の中には自然保育というような内容は含まれていませんでしたが、その内容については、しっかり話が詰められており、あえて業者の方から民営化について素晴らしい内容の提案がされてくることを待っている状況にあるという事でよろしいでしょうか。

幼児教育課長

自然保育については、今まで検討委員会や関係者から、ご意見を伺いながら十分に検討を進めてきたところですので、提案内容に期待をしているところです。

教育長

ありがとうございました。

次にその他4「茅野市奨学金審査会委員の選出について」お願いします。

学校教育課長

その他4の資料をご覧ください。

茅野市奨学金審査会委員の推薦につきましては、令和2年7月1日から令和3年6月30日までの任期となります。役員の改選等により、変更がありましたので説明をさせていただきます。

教育委員については、前任者の小平さんに代わり、永嶋委員に委嘱を考えております。

民生児童委員協議会からは田村さんを新規に。主任児童委員からは小坂さんを新規に。市PTA連合会からは田島さんを新規に提案させていただきたいと思います。この内容でよろしければ、本会でご承認をいただき、市長より委嘱をさせていただきたいと思います。

教育長

ありがとうございました。ご承認いただけますでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございます。

次にその他5「新型コロナウイルス感染症の対応について」をお願いします。

こども部長

その他5については、市の対応、こども部の対応、生涯学習部の対応に分けてご説明させていただきます。

市の対応については、その他5の資料をご覧ください。

こちらの資料は6月9日に茅野市 with コロナくらし・経済対策会議を庁内で立ち上げ、感染症から市民の命を守る、生活を守る、事業者の経営を守る、の3つの大きな視点から総合的な対策を展開するための対策案となっています。

1ページをご覧ください。茅野市の現状と課題については、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大防止策として行われた旅行イベントの自粛や飲食関連事業者を中心とした休業要請などは、市内の飲食・観光関連の経済にも大きな打撃を与えました。

このため、5月1日に、くらし・経済対策の第1弾として、急激に売り上げが減少した事業者への事業継続支援など3億円の市単独対策費を計上するほか、国や県の補助予算の関連事業も含め総額60億円の補正予算を編成しました。

現在のところ、直近1ヶ月の諏訪地域における新規の感染者は確認されておらず、落ち着いている状況にある一方で、今だ、市民生活や地域経済には、大きな影響が生じていることから、今後は社会・経済に与える影響が最小になるように、必要な対策を講じていく必要があります。

続いて、2ページをご覧ください。茅野市の対策方針については、1つ目が市民の命を守る、2つ目が市民のくらしを守る、3つ目が企業・事業者の経営を守る3つの柱により、くらしと経済を守るため、着実に展開していきます。

3つの柱の基本的な考え方と対策事業については、6月17日の全員協議会にてお示しさせていただいた内容となりますが、こちらは現在、案としてご確認いただきたいと思います。教育委員会に関連する部分のみ説明させていただきます。

市民の命を守る、さらなる感染拡大防止対策については、公共施設への非接触式電子温度計、飛沫防止設備の配備。保育園、小中学校、学童クラブ等へのマスク、消毒液等の確保。公共施設の消毒の実施。スクールバスの増便などが該当します。

市民のくらしを守る、学校の休業を想定したICT化の加速については、児童・生徒1人1台タブレット端末の導入。家庭学習用のWi-Fiルーターの整備の支援などが該当します。

子ども・家庭への支援の充実については、育ちあいの相談体制の充実。こども食堂への支援の拡充。修学旅行に係るキャンセル料の支援などが該当します。

心豊かなくらしの支援については、図書館蔵書数を増やし長期貸し出しによる読書環境の充実などが該当します。

続いて、実施方法については、対策事業のうち新たな予算措置が伴う事業であって、緊急対応が必要な事業については、6月中に、くらし・経済対策第2弾の補正予算を編成し実施します。

その他の対策事業については、7月以降に補正予算を編成し実施します。

続いて、その他として今後も、国や県の動向のほか、地域での新型コロナウイルス感染症の発症状況を踏まえ、必要に応じてくらし・経済対策を随時改定します。

茅野市 with コロナくらし・経済対策（案）については、以上となります。

続いて、こども部の感染症の対応についてです。

こども課主管の施設、こども館、地区こども館、0123 広場、CHUKO らんどチノチノについて、0123 広場は土日を休館日としていましたが、7月1日以降は土曜日も開館日として考えております。

CHUKO らんどチノチノでは、ダンスルーム、スタジオの貸し出しは行っていませんでしたが、7月1日からダンスルームは2スペースに区切り、ダンスルーム及びスタジオは1日1枠で2時間の利用を可として開館することを考えています。

地区こども館では、3密の回避対策が可能な施設から、当初13時までの開館となっていたところを、概ね16時45分あるいは17時まで拡大した開館時間とし、7月6日以降、体制が整った地区こども館から実施していくことを予定しています。

続いて、幼児教育課関係において、保育園は現在通常通り実施をしているところです。感染症対策や新しい生活様式に合わせた方法で行っています。この中で、通常と違う部分については、今年度、プール遊びは実施しない予定となっています。その他の行事については、基本的に7月から健康チェック表を作成して実施していくことになっています。

続いて、学校教育課関係において、小中学校は現在通常通りに授業を実施しています。

夏休みの短縮については、前回申し上げたとおりとなります。

学校開放施設では、校庭を6月1日から開放しておりました。屋内施設に関しては、7月1日から再開する予定となります。ただし、使用後の消毒・清掃等の注意事項を守っていただき、利用していただくことになっています。

こども部については、以上となります。

生涯学習部長

続いて、生涯学習部の関係についてご報告いたします。

前回、報告いたしましたとおり、上半期のほとんどの事業を中止していましたが、緩和策等により、変更された部分がありますので、各部門ごとご説明させていただきます。

生涯学習課関係において、「読り一む i n ちの」では、ファーストブックのプレゼントを6月中は事務局のみで手渡しで行っていました。7月からは「読り一む i n ちの」のスタッフ2名と事務局で対応することになりました。セカンドブックについては、7月中に全ての小学校で実施予定となります。

市民館関係においては、6月1日から感染症対策を講じた上で、再開館しました。ただし、催事が無い場合の開館時間は9時から19時とし、開館時間の短縮を図りました。イベントスペースについては、催事がある場合のみオープンしております。市民館に併設されている図書館については、本館に準じた貸し出し等の作業を行っています。閲覧等の滞在時間については避けていただき、部分的な開放としています。

公民館については、6月1日から感染症対策を講じた上で、通常開館としています。6月末の行事をはじめとし、徐々に講座の開催をしています

図書館については、午前10時から午後6時までに短縮をし、実施しています。7月1日からは、貸し出し冊数と貸し出し期間を通常に戻し、滞在時間を1時間に緩和し、開館となります。

家庭教育センターについては、6月1日から開館しています。7月30日の「からだであそぼう」をはじめとし、行事を再開していく予定です。

尖石縄文考古館については、6月2日に開館をしました。その際には県外からの来館者もいらっしゃるということから、検温、代表者の氏名・住所等を記入いただき、入館していただいています。また、6月22日までの入館者数は1,087名となっており、内、市内が50件、郡内が58件、県内が297件、県外が265件となっています。

青少年自然の森については、6月2日に開所をいたしました。利用可能範囲は郡内居住者に限定し、宿泊は不可となっていました。8月1日以降は郡外居住者及び宿泊についても利用可とする予定で、準備を進めています。

八ヶ岳総合博物館については、6月2日から開館となりました。6月22日から「古文書解説講座」を開始しています。プラネタリウムについては、現在実施していませんが、6月21日の部分日食では日食を見る会を開催しています。

神長官守矢史料館については、6月2日から開館となりました。検温、代表者の氏名・住所等を記入いただき、入館をしていただいています。

続いて、スポーツ健康課関係について、運動公園では6月1日から開館をいたしました。ただし、トレーニング室と卓球室については、危険性があるため6月15日から利用の開始をいたしました。大会や行事等については、コロナ対策をしっかりといただくことを条件に実施をしていきます。

また、運動公園のプールについては、今期は中止とさせていただきました。

生涯学習部については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

最後に事務局より次回の日程について報告をお願いします。

教育総務係長

次回7月の予定を報告させていただきます。定例教育委員会を7月29日（水）午前9時30分から議会棟大会議室で行います。事務局会議については、7月15日（水）午前9時00分から705会議室にて行います。よろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。以上で6月定例教育委員会を閉会します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和 2 年 7 月 29 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長